



FIBER 繊維学会誌

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈ISF2014国際シンポジウム〉

||| 報 文 ||| Original Articles



2014 Vol.70

12



ファッション業界での活躍をめざすなら、 服飾造形学類

和洋女子大学

● 人文学群

- 国際学類 英語文化コミュニケーション専修 / 国際社会専修
日本文学文化学類 日本文学専修 / 日本語表現専修 / 書道専修 / 文化芸術専修
心理学類 心理学専修
こども発達学類 こども発達学専修

● 家政学群

- 服飾造形学類 服飾造形学専修
健康栄養学類 健康栄養学専修
家政福祉学類 家政福祉学専修

和洋女子大学大学院（男女共修）

● 人文科学研究科

- 英語文学専攻
日本文学専攻

● 総合生活研究科

- 総合生活専攻
（博士前期・後期課程）

【お問い合わせ先】 TEL: 047-371-1127
広報・入試センター FAX: 047-371-1185



和洋女子大学
和洋女子大学大学院

〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1
＜交通アクセス＞京成線 国府台駅より徒歩10分 / 北総線 矢切駅よりバス7分 /
JR線 市川駅よりバス8分 / JR線 松戸駅よりバス20分

www.wayo.ac.jp

f facebookでも大学の情報を発信しています。http://www.facebook.com/wayo.univ

GO TO THE NEXT STAGE

タフに、しなやかに、進化した“E”。Hibrid-Turf EX

Eシリーズのハイエンド仕様、ハイブリッドターフEX (Excellent)。

ロングパイル人工芝の先駆けとして2000年に誕生し、時代とともに進化を続ける「ハイブリッドターフ」。

そして今、施設管理者による人工芝選定基準の第1位となる「耐久性」と、期待する耐用年数「10年」に対応するべく開発された「ハイブリッドターフEX」。

まさに、高耐久に特化したモノフィラメント芝のハイエンドタイプです。



起立性としなやかさを両立したヤーンを採用。

従来よりも肉厚ヤーンにしたことで、芝の起立性がさらに向上。しかも、ひし形形状にしたことにより、しなやかさも確保しました。また、裂けにくくヤーンの摩耗劣化を大幅に改善。長期間にわたり、良好なグラウンドコンディションが維持できます。



学習院中高等科第1グラウンド(東京都)

■ ヤーンの曲げ剛性試験測定値



充実のラインアップで、様々なリクエストにお応えします。



EX 開発テーマは“タントツ”！人工芝選定基準1位の「耐久性」に対応するべく、高耐久に特化した「ハイブリッドターフEX」。



ET 明治神宮野球場に導入され、全国に広がった「ハイブリッドターフET」。捕捉性としなやかさが特長です。



ER 品質、外観、価格のベストバランスを追求したモノフィラメント芝の普及タイプ。幅広い用途に対応する「ハイブリッドターフER」。



XPJ/XXP 発売以来、豊富な実績を誇るXPシリーズの進化系「ハイブリッドターフXPJとXXP」。プレーしやすい、芝のボリューム感が好評です。

ウェアラブル接触力センサー

HapLog[®]

Haptic Skill Logger

KATO TECH CO., LTD.

カトーテック 株式会社

〒601-8447 京都市南区西九条唐戸町26

<http://www.keskatco.co.jp/> Tel:075-681-5244



HapLog[®] とは？
ハプログ

接触力センサーと 3 軸加速度センサーを内蔵した
“自然な指動作を測定するセンサー”です。

本センサーは指腹の接触力と指の動きを同時に測定することができます。指腹の指紋部を覆わないため、指にセンサーを装着させても触感を損わずに自然な動作ができます。無意識な動作、指の押し圧を測定することが出来るので、一般モニターの個人差や指導者との違いを見分けることも可能になります。

本センサーによって、指腹の指紋部が肌や物体と直接触れ合ったときの力（触圧）と指の動きを同時に測定し、指先の運動量、接触力の個人差と、そこに現れる結果の違いや、官能評価の違いを視覚的に結びつけることができるようになりました。

この世界初となるセンサー設計が 2011 年グッドデザイン賞を受賞しました。

特長
1

軽量で腕に装着可能

小型・軽量ながら同時に3本の指を
センシング可能なアンプを採用。

測定データは PC に取り込むことが
できます。

特長
3

迅速なキャリブレーション

個人差のある指腹の変形と接触力との関係を
予めキャリブレーションで補正します。

特長
2

指紋部を覆わないセンサー

触感そのままに、指先の力を計測可能です。



センシングのしくみは？

指が物に接触した時の、指腹の変形を検出しています。

指腹は物に接触した時、水平方向に変形します。この時の指腹の変形をセンサーで検出し、力の大きさを計測します。本センサーでは計測の前に予めキャリブレーションを行い、個人差のある接触力と指の変形の関係を補正しています。

また、3 軸加速度センサーを内蔵しているため、センサーを付けた指の動きも同時に計測することができます。



用途・応用例



医療分野

手術における教育ツール・リハビリ効果の評価



自動車産業

ハンドル・車内装備品の操作性評価



家電・消費産業

製品の指動作におけるユーザービリティ評価



ゲーム・スポーツ産業

ボタン操作、グリップ操作などの
指動作におけるユーザービリティ評価



バーチャルリアリティ

指先感覚のセンシング

“繊維”を 知りたい！ 信州大学 繊維学部発 学びたい！ テキスタイル工学のバイブル完成！！

最新テキスタイル工学 I

最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品の心地を数値化するためには —

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —

- ▶ 人材育成・教育用に
- ▶ 技術開発・商品企画に
- ▶ 産学官連携へのアプローチに

次代に継承する繊維技術を網羅した全2巻

今すぐご活用ください！！

● 編 著： 西松 豊典

(信州大学 繊維学部 教授)

最新テキスタイル工学 I

● 販 価 2,900 円
(本体 2,500 円+税 200 円+送料 200 円)

最新テキスタイル工学 II

● 販 価 3,440 円
(本体 3,000 円+税 240 円+送料 200 円)

本書の内容

最新テキスタイル工学 I

— 繊維製品の心地を数値化するためには —

● A5判 220ページ カバー巻き

はじめに

第1章 背広服(スーツ)の「着心地」を数値化するには

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 1.1 はじめに
- 1.2 服飾史に見る背広服
- 1.3 「着心地 (clothing comfort)」とは
- 1.4 背広服上衣の「着心地」を数値化するには
- 1.5 おわりに

第2章 「快適性(心地)」を評価する官能検査とは

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 2.1 人間快適工学とは
- 2.2 感性情報とは
- 2.3 視覚と触知覚について
- 2.4 官能検査を行うには

第3章 シミュレーション

……信州大学 繊維学部 感性工学課程
教授 乾 滋

- 3.1 シミュレーションとは
- 3.2 テキスタイル・衣服のシミュレーション

第4章 生理的機能量の測定

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
准教授 金井 博幸

- 4.1 はじめに
- 4.2 生理的機能量とその役割
- 4.3 生理的機能量の分類
- 4.4 心電図
- 4.5 脳波
- 4.6 筋電図

第5章 繊維製品の物理量を測定するには

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 木村 裕和

……(5.6 嗅覚に関連する物理量の測定)
信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
准教授 金井 博幸

- 5.1 はじめに
- 5.2 測定とは
(感度、精度、有効数字、測定回数)
- 5.3 触知覚に関連する物理量
(機械的性質)の測定
- 5.4 触知覚に関連する物理量
(機能的特性)の測定

- 5.5 視覚に関連する物理量の測定
- 5.6 嗅覚に関連する物理量の測定
- 5.7 工業規格類を利用する際の留意事項

第6章 繊維製品の「心地」と物理量の関係は多変量解析で

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 6.1 はじめに
- 6.2 相関分析とは
- 6.3 主成分分析
- 6.4 重回帰分析

索引

最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —

● A5判 320ページ カバー巻き

はじめに

第1章 繊維製品

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 木村 裕和

- 1.1 はじめに
- 1.2 アパレル製品
- 1.3 スポーツウェア
- 1.4 高齢者用衣料品
- 1.5 インテリア製品
- 1.6 ジオテキスタイル
- 1.7 自動車用関連製品
- 1.8 医療関連製品

第2章 繊維原料

……福井大学 大学院工学研究科
教授 田上 秀一

……福井大学 大学院工学研究科
講師 植松 英之

……信州大学
名誉教授 松本 陽一

……(株)AOKI 商品開発室長
室長 柴田 清弘

- 2.1 はじめに
- 2.2 繊維原料の歴史
- 2.3 天然繊維
- 2.4 化学繊維
- 2.5 今後の繊維材料の課題

第3章 紡績工学

……信州大学
名誉教授 松本 陽一

- 3.1 はじめに
- 3.2 糸づくりの歴史
- 3.3 よい糸の条件
- 3.4 糸の表示方法
- 3.5 糸の分類と種類
- 3.6 紡績工程

- 3.7 糸の試験方法と糸むらの評価方法
- 3.8 新しい紡績技術の開発
- 3.9 課題

第4章 製布工学

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

……東京都立産業技術センター
多摩テクノプラザ 所長 近藤 幹也

- 4.1 はじめに
- 4.2 布の歴史
- 4.3 皮革
- 4.4 合成皮革と人工皮革
- 4.5 織物について
- 4.6 編物(ニット)
- 4.7 織物分解、編物分解
- 4.8 不織布
- 4.9 課題

第5章 染色加工・機能加工

……信州大学 副学長 繊維学部長
教授 濱田 州博

- 5.1 はじめに
- 5.2 染色の歴史
- 5.3 染料と染色加工
- 5.4 染色加工の前処理(準備工程)
- 5.5 染色性の評価法
- 5.6 仕上げ加工・機能加工

第6章 衣服の設計と生産

……信州大学 国際ファイバー工学研究所
教授 高寺 政行

……信州大学 国際ファイバー工学研究所
助教 金 屋

- 6.1 はじめに
- 6.2 既製服の設計・生産
- 6.3 既製服の設計
- 6.4 生地と副資材の選択
- 6.5 衣服のターゲットとサイズ
- 6.6 衣服のデザイン要素
- 6.7 パターン設計
- 6.8 既製服の生産
- 6.9 CAD・CAMとシミュレーション

第7章 衣服の洗濯

……ライオン(株) ファブリックケア研究所
蓼沼 裕彦

……ライオン(株) ファブリックケア研究所
宮原 岳彦

- 7.1 はじめに
- 7.2 衣服の汚れ
- 7.3 家庭用洗濯洗剤と漂白剤
- 7.4 おしゃれ着洗濯
- 7.5 衣服用仕上げ剤
- 7.6 おわりに

第8章 日本の繊維産地

……地方独立法人 大阪府立産業技術研究所
山本 貴則

索引

お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で！



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056

大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)

Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899

E-mail: info@sen-i.co.jp http://www.sen-i.co.jp

繊維学会誌

平成 26 年 12 月 第 70 巻 第 12 号 通巻 第 825 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】 先端繊維で豊かな未来に貢献する 越智 仁 ... P-755
- 【特 集】 〈ISF2014 国際シンポジウム〉
繊維学会創立 70 周年記念事業 繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム 2014
..... 鞠谷 雄士・木村 邦生・金谷 利治・濱田 州博
磯貝 明・鋤柄佐千子・髭谷 要・松本 英俊 ... P-756
- Web 展併催・先端繊維素材シンポジウムの報告 大松沢明宏 ... P-767
- 新繊維技術展示会レポート 堀 照夫 ... P-770
- 一般社団法人繊維学会創立 70 周年記念事業 ファッションショー報告 田村 照子 ... P-772
- 【解 説】 宇宙エレベーター実現のための取り組みと繊維 大野 修一 ... P-774
- 【連 載】 〈知的財産権-3〉
アップル vs サムスン紛争にみる特許戦略
..... HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK ... P-780
- 〈溶融紡糸の原点〉
溶融紡糸の原点(8) 小野 輝道 ... P-782
- 〈業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座-3〉
第 1 編 繊維の基礎知識 北村 和之・井塚 淑夫・向山 泰司 ... P-788
- 【繊維学会創立70周年記念連載】 〈技術が支えた日本の繊維産業-生産・販売・商品開発の歩み-15〉
綿紡織業の盛衰(2) 松下 義弘 ... P-800
- 【海外ニュースレター】 P-810
- 【追 悼】 浅井恒雄氏のご逝去を悼む 荻野 賢司 ... P-812
- 【議 事 録】 一般社団法人 繊維学会第 658 回理事会議事録(抜粋) P-813

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】 組紐製小口径絹人工血管の作製とイヌ腹部大動脈移植による評価
..... 早乙女俊樹・上杉 昭二・衣笠 純・山本 諭・岡本 宏之・朝倉 哲郎 ... 281
- 【技術報文】 ウォーターセットを利用した毛髪の新規ストレートパーマ施術法
..... 上甲 恭平・山本奈絵子 ... 288
- 環境配慮型洗濯におけるペルオキシダーゼを用いた染料退色反応
..... 東 輝・森田みゆき ... 294

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 70, No. 12 (December 2014)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Create a Bright Future by Advanced Fiber Materials Hitoshi OCHI ... P-755

〈Special Issue on the International Symposium on Fiber Science and Technology (ISF2014)〉

International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF2014)

.... Takeshi KIKUTANI, Kunio KIMURA, Toshiji KANAYA, Kunihiro HAMADA,
Akira ISOGAI, Sachiko SUKIGARA, Kaname KATSURAYA,
and Hidetoshi MATSUMOTO ... P-756

Report of Advanced Fiber Material Symposium and Web EXPO Akihiro OOMATSUZAWA ... P-767

Report on Exhibition of New Fiber Technology Teruo HORI ... P-770

Fashion Show Teruko TAMURA ... P-772

〈Review〉

Efforts for Space Elevator Realization and Fibers Shuichi OHNO ... P-774

〈Series on Intellectual Property Right-3〉

Patent Strategy ; From Case Study of Apple vs. Samsung Dispute

..... HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK ... P-780

〈Series on Origin of Melt-Spinning Technology〉

Origin of Melt-Spinning Technology (8) Terumichi ONO ... P-782

〈Series on Fiber Basic Course Lectured by Professional Engineers-3〉

Basic Knowledge of Fibers ... Kazuyuki KITAMURA, Yoshio IZUKA, and Taiji MUKAIYAMA ... P-788

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development–15〉

Rise and Fall of Cotton Spinning and Weaving Industries (2)..... Yoshihiro MATSUSHITA ... P-800

〈Foreign News Letter〉 P-810

〈Obituary〉 Kenji OGINO ... P-812

〈Minutes〉

Summary of 658th Sen'i Gakkai Board of Directors P-813

[Original Articles]

〈Transaction〉

Preparation of Braiding Silk Vascular Graft Coated by Silk Fibroin and Evaluation by Implantation
into Dog Abdominal Aorta

..... Toshiki SAOTOME, Shoji UESUGI, Atsushi KINUGASA,
Satoshi YAMAMOTO, Hiroyuki OKAMOTO, and Tetsuo ASAKURA ... 281

〈Technical Papers〉

A New Permanent Straightening Process of Human Hair Using the Water Set

..... Kyohei JOKO and Naeko YAMAMOTO ... 288

Decolorization Reaction of Dye Using Peroxidase in Eco-Friendly Washing

..... Akira HIGASHI and Miyuki MORITA ... 294

Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

Vol.70 No.12

December 2014

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transaction]

Preparation of Braiding Silk Vascular Graft Coated by Silk Fibroin and Evaluation by Implantation
into Dog Abdominal Aorta

..... Toshiki Saotome, Shoji Uesugi, Atsushi Kinugasa,
Satoshi Yamamoto, Hiroyuki Okamoto, and Tetsuo Asakura ... 281

[Technical Papers]

A New Permanent Straightening Process of Human Hair Using the Water Set

..... Kyohei Joko and Naeko Yamamoto ... 288

Decolorization Reaction of Dye Using Peroxidase in Eco-Friendly Washing

..... Akira Higashi and Miyuki Morita ... 294

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

繊維学会誌「報文」活性化と正確な引用文献表記をお願い致します — 繊維学会誌引用の際は“Sen’i Gakkaishi”と表記してください —

繊維学会誌では論文誌としての価値を高めて、より一層会員の皆様、投稿者の皆様に貢献したいと考えております。

これまで以上に積極的な御投稿をお願い申し上げますとともに、本誌を含め各種学術雑誌に研究成果を御発表されます場合には、繊維学会誌の積極的な引用についても併せてお願い申し上げます。

特に引用を頂く際には、誌名の正確な綴りにもご留意いただきますようお願いいたします。現在の繊維学会誌「報文」は、“Sen’i Gakkaishi”(n と i の間はアポストロフィでハイフンではありません)の表記をお使いいただきますようお願いいたします。

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

「報 文」編集委員 Sen’i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	髪 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(京都大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2014 & 2015)

President T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

Vice-Presidents T. Kanaya (Kyoto University)

K. Hamada (Shinshu University)

H. Murase (Toyobo Co., Ltd.)

Member-promoting Officer M. Tokita (Tokyo Institute of Technology)

Editor in Chief “Sen’i to Kogyo” A. Tsuchida (Gifu University)

Editor in Chief “Sen’i Gakkaishi” K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

Treasurers H. Oikawa (Tohoku University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

K. Inomata (Nagoya Institute of Technology)

K. Hisada (University of Fukui)

H. Urakawa (Kyoto Institute of Technology)

K. Tanaka (Kyushu University)

Planning Officers T. Iwata (The University of Tokyo)

M. Aoyama (Toray Industries, Inc)

K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

A. Tsuchida (Gifu University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
26. 12. 20(土)	繊維学会 関東支部 平成 26 年度学生論文発表会(東京都・東京農工大学小金井キャンパス)	A7
27. 1. 16(金)	「スマートテキスタイル連携研究推進委員会」キックオフセミナー(東京都・品川区立総合区民会館さゆりあん 小ホール)	A6
1. 20(火)	プラスチック成形加工学会「第 145 回講演会」[Additive Manufacturing(AM、付加製造)ー3D プリンタの技術革新と応用事例ー](東京都・工学院大学新宿キャンパス)	A8
1. 23(金)	『2015 学術ミキサー』(東京都・東京大学農学部弥生講堂アネックス『セイホクギャラリー』)	A7
1. 24(土) 31(土)	JTCC「アパレル製品の基礎知識」講座 大阪会場(大阪市・大阪産業創造館)	A8
2. 5(木) 6(金)	第 19 回省エネルギーセミナー「低炭素社会実現にむけ、省エネの限界に挑戦」(東京都・タワーホール船堀 小ホール)	A8
2. 7(土) 14(土)	JTCC「アパレル製品の基礎知識」講座 東京会場(東京都・タワーホール船堀)	A8
2. 20(金)	特別講演会 繊維技術講座『標準化と安全規格』ー繊維のグローバル展開へのパスポートー(東京都・キャンパスイノベーションセンター)	A5
2. 28(土) 3. 7(土)	JTCC「アパレル製品の基礎知識」講座 名古屋会場(名古屋市・名古屋国際センタービル)	A8
3. 3(火)	第 12 回キンカ高分子化学研修コースー高分子化学に実学を身につけさせたい上司、身につけたい新人に朗報ー(大阪市・大阪科学技術センター)	A8
6. 10(水) ~12(金)	平成 27 年度繊維学会年次大会 研究発表会・ポスター 発表募集(東京都・タワーホール船堀)	A3~4
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成26年 1 月号
	訂正・変更届用紙	平成26年 3 月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長 土田 亮(岐阜大学)

編集副委員長 髯谷 要(和洋女子大学大学院) 出口 潤子(旭化成せんい(株))

編集委員 植野 彰文(KBセーレン(株)) 大島 直久(東海染工(株)) 金 翼水(信州大学) 小寺 芳伸(三菱レイヨン(株))

澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 高崎 緑(宮城教育大) 寺本 喜彦(東洋紡(株)) 西田 幸次(京都大学化学研究所)

増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大学) 八重田 徹(王子ホールディングス(株)) 山田 秀夫(帝人(株))

吉田 耕二(ユニチカトレーディング(株))

顧問 浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
スマートテキスタイル連携推進研究委員会講演会	平成27年 1 月16日(金)	品川区立総合区民館(きゅりあん)
2015 年学術ミキサー	平成27年 1 月23日(金)	東大セイホクギャラリー
繊維技術特別講座	平成27年 2 月20日(金)	CIC 田町(国際会議場)

平成27年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成27年度年次大会	平成27年 6 月10日(水)～ 6 月12日(金)	タワーホール船堀(東京都江戸川区)
第45回夏季セミナー	平成27年 7 月29日(水)～ 7 月31日(金)	北九州国際会議場(小倉)

平成 26 年度繊維学会各賞授賞候補者募集

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦を求めています。奮ってご推薦または応募ください。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の本学会誌に投稿されました報文から選考されます。

推薦(応募)期限は平成 26 年 12 月 25 日(木)となっていますので、ご注意ください。推薦書類はホームページの「学会賞」欄の学会賞についてからダウンロードして使用してください。お問い合わせは下記の本部または各支部にご連絡ください。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：年齢満 60 歳以上の本学会員で繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：5 件以内。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：受賞年(平成 27 年)の 4 月 1 日において 51 歳未満の本学会員で、繊維科学について、独創的で優秀な研究を行い、更に研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：2 件以内。

3. 技術賞

- ① 対象：本学会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。

4. 論文賞

- ① 本学会員で、繊維科学および繊維技術に関し、その年の本学会誌(平成 25 年 1 月号～12 月号)に報文(論文)を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。

5. 奨励賞(本年度新設)

- ① 受賞年(平成 27 年)の 4 月 1 日において 36 歳未満の本学会員で、繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。

6. 紙・パルプ論文賞

- ① 対象：授賞年(平成 27 年)の 4 月 1 日において 40 歳未満の本学会員で、過去 5 年間に本学会誌に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：1 件以内。

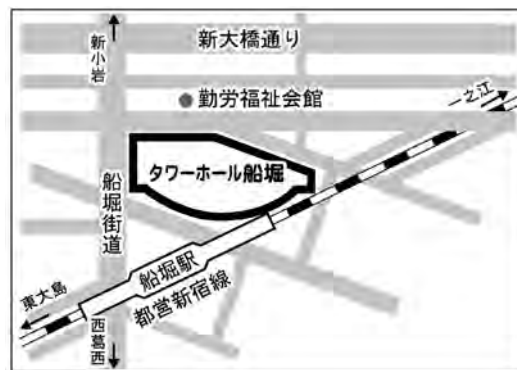
問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208
TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp

支 部 名	支部長名	所 在 地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	及川 英俊	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学多元物質科学研究所	022-217-6357 oikawah@tagen.tohoku.ac.jp
関 東 支 部	荻野 賢司	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学大学院工学研究院 応用化学部門	042-388-7404 kogino@cc.tuat.ac.jp
東 海 支 部	猪股 克弘	〒468-8511 愛知県名古屋市中区御器所町 名古屋工業大学大学院 しくみ領域 工学研究科	052-735-5274 inomata.katsuhiko@nitech.ac.jp
北 陸 支 部	久田 研次	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学大学院 工学研究科 繊維先端工学専攻	0776-27-8574 k-hisada@u-fukui.ac.jp
関 西 支 部	浦川 宏	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7567 urakawa@kit.jp
西 部 支 部	田中 敬二	〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院工学研究院 応用化学部門	092-802-2878 k-tanaka@cstf.kyushu-u.ac.jp

平成 27 年度繊維学会年次大会 研究発表会・ポスター 発表募集

1. 日 時：平成 27 年 6 月 10 日(水)～12 日(金)
2. 会 場：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)
〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1
TEL:03-5676-2211 FAX:03-5676-2501
<http://www.towerhall.jp/>
〈交通〉都営地下鉄新宿線船堀駅下車北口徒歩 30 秒



3. 開催概要

繊維学会年次大会では、活躍する若手研究者の顕在化のために「若手優秀発表賞」を、優秀な学生を顕彰するために「若手優秀ポスター賞」を授賞しています。例年多数の一般発表に加え、依頼講演もございます。会員の皆様には、ご自身の最新の研究成果の発表の場、討論の場、ネットワークを広げる場に本年次大会をご活用ください。

4. 発表分野：プログラム編成にあたり、発表内容を加味して、分野変更や分野統合などを行う可能性があります。予めご了承ください。

- [1. 繊維・高分子材料の創製] 1a 新素材合成、1b 素材変換・化学修飾、1c 無機素材・無機ナノファイバー・有機無機複合素材
- [2. 繊維・高分子材料の機能] 2a オプティクス・フォトンクス、2b エレクトロニクス、2c イオニクス、2d 機能膜の基礎と応用、2e 接着・界面/表面機能、2f 耐熱性・難燃性
- [3. 繊維・高分子材料の物理] 3a 結晶・非晶・高次構造、3b 繊維・フィルムの構造と物性、3c 複合材料の構造と物性
- [4. 成形・加工・紡糸] 4a ナノファイバー、4b 繊維・フィルム、4c 複合材料・多孔体、4d 染色・機能加工
- [5. ソフトマテリアル] 5a 液晶、5b コロイド・ラテックス、5c ゲル・エラストマー、5d ブレンド・ミクロ相分離、5e その他ソフトマテリアル
- [6. 天然繊維・生体高分子] 6a 紙・パルプ、6b 天然材料・ナノファイバー、6c 生分解性材料、6d バイオポリマー、6e バイオマス
- [7. バイオ・メディカルマテリアル] 7a 生体材料・医用高分子材料
- [8. テキスタイルサイエンス] 8a 紡織・テキスタイル工学、8b 消費科学、8c 感性計測・評価
- [9. スペシャリティー繊維の構造と物性(特別セッション)]

5. 研究発表募集部門：次の 2 部門で発表を募集します。

部門 A [口頭発表：一般「A1」または若手「A2」] (討論 5 分を含んで発表時間 20 分)

部門 P [ポスター発表：一般「P1」または若手「P2」]

発表分野について、一般、若手いずれの場合も、部門番号(A1、A2、P1、P2)の後に上記 4 に示した細目セッション番号を連続させて、たとえば「A1-5d」、「P2-6b」のように選択してください。

なお、A2 ならびに P2 は優秀発表賞の審査対象部門で、応募資格は以下のとおりです。

A2：平成 27 年 6 月 1 日現在で 40 歳未満の学会員

P2：平成 27 年 6 月 1 日現在で博士号を持たない 30 歳未満の学会員

P2 の表彰は、2 日目のワインパーティーにて、A2 の受賞者は、会期後、学会ホームページ・学会誌で公表します。

6. 発表申込方法と締切期日

発表申込/予稿集原稿はいずれも学会 Web サイト(<http://www.fiber.or.jp>)「繊維学会年次大会」のページで発表1件ごとに登録/投稿していただきます。メール・FAX による受付は行いません。受付開始～締切は、下記のとおりです。

発表申込：平成26.12.8(月)～平成27.1.30(金) 17 時

事前参加登録：平成27.4.1(水)～平成27.5.13(水) 17 時

予稿原稿投稿(一般)：平成27.3.9(月)～平成27.4.3(金) 17 時

予稿原稿投稿(A2 応募対象者)：平成27.3.9(月)～平成27.3.16(月) 17 時

予稿集発行日：平成27.6.8

(注意)締切直前は WEB が込み合いますので、早めの申込を推奨します。また、締切期限を過ぎますと自動的に WEB が閉鎖され、以後は受け付けられなくなります。発表申し込みに関する要望・問い合わせは、学会事務局へお願いします。

A2 応募対象者は、予稿原稿投稿期間が異なります。期間内に投稿していない場合、審査対象から除外致しますので、くれぐれもご注意ください。

7. 発表方法：

口頭発表：液晶プロジェクターが準備されています。パソコンは発表者自身をご持参ください。OHP、スライドを用いる場合は、あらかじめご連絡いただき、OHP ないしスライドプロジェクターは発表者自身をご持参ください。

ポスター：縦 180cm 横 120cm 高さ 190cm のポスターボードに掲示ください。掲示場所が不足する場合は別途ご案内します。

8. 参加登録料・懇親会費

参加登録料	繊維学会 正会員	維持・賛助会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	10,000 円	10,000 円	18,000 円	3,000 円	6,000 円
当日登録料	12,000 円	12,000 円	20,000 円	5,000 円	8,000 円
懇親会費	繊維学会 正会員	維持・賛助会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	7,000 円	7,000 円	7,000 円	3,000 円	3,000 円
当日登録料	8,000 円	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

9. その他：不測の事態(インフルエンザ流行等)が生じた場合は、WEB 上で告知することをご承知おきください。

ご不明の点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

平成 27 年度繊維学会年次大会実行委員会

実行委員長：荻野賢司(東農工大)

実行副委員長：中澤靖元(東農工大)、道信剛志(東工大)、仲野幸弘(花王㈱)

担当理事：戸木田雅利(東工大)

実行委員：荒木 潤(信州大)、大川浩作(信州大)、金井博幸(信州大)、河井貴彦(群馬大)、木村 睦(信州大)、小瀬亮太(東農工大)、小林元康(工学院大)、齋藤継之(東大)、榊原圭太(京大)、澤田敏樹(東工大)、芝崎祐二(岩手大)、富永洋一(東農工大)、中野幸司(東農工大)、平田雄一(信州大)、廣垣和正(福井大)、本郷千鶴(神戸大)、村上義彦(東農工大)、若子倫業(金沢大)

学会事務局：野々村弘人、山本恵美

特別講演会 繊維技術講座
『標準化と安全規格』
— 繊維のグローバル展開へのパスポート —

JIS や ISO などの規格は時はビジネスを左右するほどの影響を及ぼします。また、各国で定められた製品安全規格を知らずしてグローバルな経済活動は困難であり、研究開発の初期段階から安全衛生性を意識した開発が必要です。JIS・ISO などの標準化規格や内外の安全性規格の動向を基礎から学び、さらに新材料の標準化への取り組み状況について知る講演会を企画いたします。繊維・高分子材料の世界展開のご参考になると期待しております。是非ご参加ください。

主 催：一般社団法人 繊維学会

日 時：平成 27 年 2 月 20 日(金) 10:00~17:00

場 所：キャンパスイノベーションセンター(東京都港区芝浦 3-3-6)

〈交通〉JR 山手線・京浜東北線 田町駅(徒歩 1 分)、都営三田線・浅草線三田駅(徒歩 5 分)

予定プログラム：

「繊維分野における JIS-ISO の動向と標準化戦略」

「炭素繊維複合材料の JIS 化、ISO 化への取り組みについて」

「ナノ材料の安全性確保に向けた国内外の法規制と研究開発の動向」

などの講演を準備中です。(都合により、講演内容や時間を変更させていただくことがございます。ご理解のほどお願いいたします)

定 員：100 名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：(消費税込み)

企業関係会員(含む維持・賛助会員)：10,000 円、企業非会員：15,000 円

大学官公庁関係会員：8,000 円、大学官公庁非会員：13,000 円、学生会員：3,000 円

学生非会員：5,000 円

申し込み：近日中に繊維学会ホームページ(<http://www.fiber.or.jp/jpn/index.html>)に申し込み用ページを公開します。

問い合わせ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会 TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

E-mail: office@fiber.or.jp

ホームページ: <http://www.fiber.or.jp/>

「スマートテキスタイル連携研究推進委員会」キックオフセミナー

一般社団法人 繊維学会では、今後の発展が大いに期待できるスマートテキスタイル分野の研究会「スマートテキスタイル連携研究推進委員会」を立ち上げました。背景には、経済産業省製造産業局繊維課、日本化学繊維協会、一般社団法人 繊維学会が連携して取り組んでいる日仏繊維協力ワーキンググループを通じて2014年5月に締結された覚書があり、この実質的な研究推進委員会です。発足に当り、下記のようにキックオフセミナーを開催することになりました。関係各位の参加を歓迎いたします。

主 催：一般社団法人 繊維学会「スマートテキスタイル連携研究推進委員会」

共 催：一般社団法人 繊維機械学会「e-テキスタイル研究会」

日 時：2015年1月16日(金) 10:00～16:00、16:30～(懇親会)

場 所：品川区立総合区民会館さゆりあん 小ホール

(JR 京浜東北線、東急大井町線、りんかい線 大井町駅 徒歩1分)

東京都品川区東大井5-18-1、TEL:03-5479-4100

<http://www.shinagawa-culture.or.jp/>

参加費：会員5,000円(主催および共催の会員)、非会員15,000円、学生3,000円

プログラム：

司会：保城秀樹副会長

1. 開会の挨拶(堀 照夫会長)

2. 委員会説明(平井利博)

3. 来賓挨拶(経済産業省繊維課、交渉中)

4. 講演会

1) 10:30～11:20 「安心・快適ウェアブルの実現」

東京大学名誉教授 板生 清

2) 11:20～12:10 「演題未定」

東京大学工学系研究科電気工学専攻 中島正雄

昼 食

3) 13:10～14:00 「福井県工業技術センターのe-テキスタイル研究の紹介」

福井県工業技術センター 増田敦士

4) 14:00～14:50 「刺繍技術のスマートテキスタイル分野への応用」

タジマ工業(株) 藤原宗徳

5) 15:10～16:00 「世界のe-テキスタイルの研究開発動向(案)」

東京工業大学名誉教授 谷岡明彦

16:30～(2時間程度)懇親会(会場未定)

申込、問合せ先：一般社団法人 繊維学会 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208

TEL:03-3441-5627 E-mail:office@fiber.or.jp

『2015 学術ミキサー』

『2015 学術ミキサー』を新年早々に開催させていただきたくご案内申し上げます。新たな年を迎えるにあたり、経済産業省製造産業局繊維課長 寺村英信様をお招きして話題提供をいただくとともに、平素よりご支援、ご指導を頂いております政府関連機関、大学、研究機関の先生方と、ご厚誼を頂いております各学会の維持会員、賛助会員企業、並びに関連団体の幹部の方々との間で情報交換をしていただきながら、繊維関連の学術と産業について展望したいと存じます。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席賜りたくご案内申し上げます。

共 催：一般社団法人 日本繊維製品消費科学会、一般社団法人 日本繊維機械学会、一般社団法人 繊維学会

日 時：2015 年 1 月 23 日(金) 12:00～14:00(受付開始は、11:30)

場 所：東京大学農学部弥生講堂アネックス『セイホクギャラリー』文京区弥生 1-1-1

TEL:03-5841-8205

<http://www.a.u.tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

(地下鉄南北線東大前下車 3 分、農学部正門左側)

講演題目：『繊維産業の展望と課題』(仮称)………経済産業省 製造産業局 繊維課長 寺村 英信

参加費：3,000 円

定 員：50 名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

申し込み先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会 事務局

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp

繊維学会 関東支部 平成 26 年度学生論文発表会

関東支部では、会員間の交流を更に活発にできるような企画を大きな柱として活動していく予定です。今年度は秋季研究発表会が開催されませんでしたので、特に学生会員の皆様に、外部発表の機会と交流の場を提供するために、論文発表会を企画しました。学生会員の皆様は、卒業・修了のための実験・論文作成等で多忙とは存じますが、論文発表の予行練習を兼ねて奮ってご参加ください。

主 催：繊維学会 関東支部

日 時：平成 26 年 12 月 20 日(土) 13:30～17:00

場 所：東京農工大学小金井キャンパス BASE 本館 1 階講義室

(東京都小金井市中町 2-24-16、JR 中央線東小金井駅から徒歩約 10 分)

(詳細は WEB サイト <http://www.tuat.ac.jp/~basehome/>をご覧ください)

発表方法：発表時間 12 分、質疑応答 7 分の口頭発表を予定しております。

発表申込：研究発表される方は下記申込先にお申し込みください。聴講のみの参加も歓迎します。

プログラム：

繊維学会関東支部のページ(<http://www.fiber.or.jp/jpn/organization/division/kanto.html>)をご覧ください。申込先までお問合せください。

論文発表会終了後に簡単な懇親の場を設けます。

参加要領

1) 参加費 無料

2) 発表及び参加申込

氏名、所属(大学・研究室名)、発表題目、連絡先(E-mail)、懇親会出席の有無を明記し、締切日までに E-mail にて下記までお申込みください。聴講については当日登録も可能です。

申込先

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

東京農工大学 荻野賢司 TEL:042-388-7404 E-mail:kogino@cc.tuat.ac.jp

JTCC「アパレル製品の基礎知識」講座

主催：日本繊維技術士センター

講座の主な内容：

JTCCで作成するテキストをベースにして、各専門分野の技術士講義をします。

- I. アパレル製品の商品化プロセス
- II. 縫製仕様書
- III. 縫製工程の概要(ニット縫製及び無縫製技術も含む)
- IV. 代表的な縫製欠点
- V. 繊維製品の品質確認方法
- VI. 表示等の関連法規
- VII. 中国関連情報
- VIII. 苦情事例解析編

スケジュール：

- 1) 大阪会場 日時：平成27年1月24日(土)、1月31日(土)
会場：大阪産業創造館
- 2) 東京会場 日時：平成27年2月7日(土)、2月14日(土)
会場：タワーホール船堀
- 3) 名古屋会場 日時：平成27年2月28日(土)、3月7日(土)
会場：名古屋国際センタービル

受講料：22,000円(消費税込み)

問合せ先：〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-9

(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)

TEL:06-6484-6506 FAX:06-6484-6575

E-mail:jtcc@nifty.com

詳細はJTCCホームページをご参照ください。

プラスチック成形加工学会 「第145回講演会」 「Additive Manufacturing(AM、付加製造) — 3Dプリンタの技術革新と応用事例 —」

主催：プラスチック成形加工学会

日時：平成27年1月20日(火)

場所：工学院大学新宿キャンパス 3階アーバンテックホール

プログラム：

- ・付加製造技術の概要 東京大学 新野俊樹
- ・付加製造技術を用いた金型製造法 九州工業大学 植原弘之
- ・付加製造技術で“個客”創造 スリーディー・システムズ・ジャパン 春日寿利
- ・アディティブ・マニファクチャリングを支えるソフトウェアプラットフォーム(仮題) マテリアライズジャパン 小林 毅
- ・AM(3Dプリンタ)の最新動向 アスペクト 早野誠治

問合せ先：(一社)プラスチック成形加工学会 事務局

TEL:03-5436-3822 FAX:03-3779-9698

第19回省エネルギーセミナー 「低炭素社会実現にむけ、省エネの限界に挑戦」

主催：紙パルプ技術協会(JAPAN TAPPI)

日時：平成27年2月5日(木)、6日(金)

場所：タワーホール船堀 小ホール

プログラム：

特別講演2件

・(株)小松製作所小山工場

・日本製紙連合会

サプライヤー講演5件

・省エネ方法、省エネ技術紹介

製紙会社事例発表9件

・各種省エネ技術導入、開発事例を製紙会社より発表

詳細はホームページをご参照ください。

問合せ先：紙パルプ技術協会 TEL:03-3248-4841

富田(E-mail:tomita@japantappi.org)

高橋(E-mail:takahashi@japantappi.org)

第12回キンカ高分子化学研修コース ～高分子化学に実学を身につけさせたい上司、 身につけたい新人に朗報～

主催：近畿化学協会

日時：平成27年3月3日(火)

場所：大阪科学技術センター 4F 405号室

プログラム：

・高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術

京都工芸繊維大学 中 健介

・高分子の重合プロセス～乳化重合などの微粒子分散ラジカル重合反応の基礎 福井大学 鈴木 清

・高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合 住友重機械プロセス機器 彌富隆一

・高分子の成形加工品の評価～ユーザーから見れば

大阪ガス 樋口裕思

・機能性高分子の開発事例～高給水性樹脂を中心に

元、三洋化成工業 増田房義

問合せ先：(一社)近畿化学協会 大阪科学技術センター 6F

大阪市西区鞠本町1-8-4

TEL:06-6441-5531 E-mail:ukita@kinka.or.jp

日本化学連合 化学コミュニケーション賞2014募集

日本化学連合は「化学コミュニケーション賞」を2014年に創設し、「化学」に対する社会の理解を深めることに貢献した個人及び団体を顕彰し、その栄誉を称えています。

本年度も奮ってご応募願います。

応募期間：平成26年11月1日～27年1月10日

表彰件数：化学コミュニケーション賞 3件以内

表彰方法：賞牌及び副賞をもって表彰し、日本化学連合主催のシンポジウムで業績紹介を予定。

化学工業日報において公表、掲載をします。

応募方法：自薦または他薦によります。

問合せ先：東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館 3F

(一社)日本化学連合事務局

化学コミュニケーション賞係

TEL:03-3292-6010 E-mail:ohashi@jucst.org